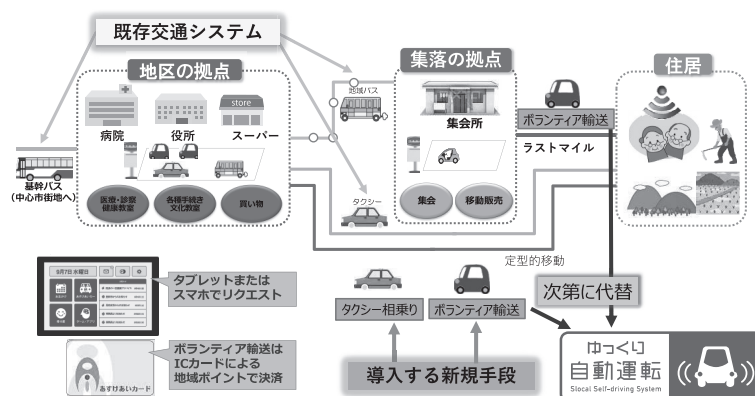


交通弱者対応移動支援サービス「モビリティブレンド」と「ゆっくり自動運転」の導入

名古屋大学 モビリティ社会研究所 教授 森川 高行

モビリティブレンド[®]：交通不便地域において、既存の交通システムに足りない部分をブレンドして、交通弱者にも使いやすいモビリティサービスを提供

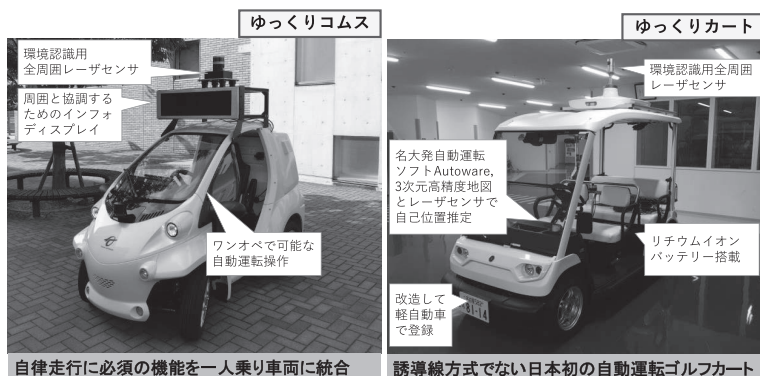


通常のMaaS (Mobility as a Service) との比較

- ・移動サービスの統合化だけでなく、ボランティア輸送、ライドシェアなど地域に適合した新しい移動サービスを導入し、既存手段とブレンド
- ・交通不便地域における高齢者など交通弱者が主なターゲット
- ・住民の社会参加促進とコスト低減のために「共助」を導入したサービスを提供

- ・中山間地域MB：豊田市足助・旭・稲武地区で実装中
- ・オールドニュータウンMB：春日井市高蔵寺NTで構築中
- ・地方都市MB：幸田町で今年度から取り組み開始

ゆっくり自動運転[®]：ゆっくりの速度で人や社会と協調する自動運転



使用用途の例

ラストマイル・シェアカー、近距離巡回バス、自動バレーパーキング、シェアカー自動回送

- ・豊田市足助地区、稲武地区、高蔵寺NTで公道走行実験済み
- ・2021年度に実運用開始予定